

KANSAI ウオーク2013

第1回 大阪市内エリア

大阪の幕末史跡を歩く

コースマップ



→ スペシャルコース

→ ファミリーコース

両コースとも、正午から午後3時30分までにゴールしてください。KANSAIウオークパスポートにチェックを受けてください。

大会の途中で棄権したり、救護を要するときは…

+ **?** 大会本部 (Central Site)・救護 (First Aid)
TEL/070-5262-2501
※この電話は、大会当日のみ有効です。

主催/産経新聞社

今日を愛する。

特別協賛/**LION**

後援/大阪中央区・天王寺区
大阪市教育委員会
大阪観光コンベンション協会
大阪商工会議所

企画運営/ムーヴエンタテインメント

www.kansai-walk.jp

【マップ制作・運営・デザイン】
(株) ムーヴエンタテインメント
【コース企画・監修】
大阪城天守閣研究主幹/北川 央



0 700m
縮尺: 1/21000

ファミリーコース (約8km)

スタート/A.
四天王寺 ▶ B.
高橋多一郎父

子墓所 ▶ C. 会津藩士墓所 ▶ D. 伊達家・陸奥家墓所跡 ▶
E. 新撰組大坂屯所跡 ▶ F. 島男也旧居跡・川崎孫四郎自刃の地 ▶ G. 浪華仮病院跡 ▶ H. 真田山陸軍墓地 ▶ I. 玉造稲荷神社 ▶ J. 城中焼亡埋骨墳 ▶ K. 大阪城天守閣前広場

スペシャルコース (約16km)

スタート/ 1. 四天王寺 ▶ 2. 高橋多一郎父子墓所 ▶ 3. 会津藩士墓所 ▶ 4. 伊達家・陸奥家墓所跡 ▶ 5. 新撰組大坂屯所跡 ▶ 6. 島男也旧居跡・川崎孫四郎自刃の地 ▶ 7. 浪華仮病院跡 ▶ 8. 真田山陸軍墓地 ▶ 9. 玉造稲荷神社 ▶ 10. 大村益次郎殉難報国碑 ▶ 11. 大阪除痘館跡 ▶ 12. 適塾 ▶ 13. 大阪会議開催の地 ▶ 14. 八軒家船着き場跡 ▶ 15. 舎密局跡 ▶ 16. 大阪城天守閣前広場

A. 1. 四天王寺



推古天皇元年（593）に聖徳太子が建立したわが国最初の官寺。南大門から中門・五重塔・金堂・講堂が一直線に並び形式は、四天王寺式伽藍配置として有名。平安時代以降は浄土信仰の聖地として栄えた。

B. 2. 高橋多一郎父子墓所



安政7年(1860)に、水戸・薩摩の浪士が大老・井伊直弼を暗殺した“桜田門外の変”は、江戸と同時に大阪でも決起する予定で、計画が進められていた。事件全体を計画した首謀者で、水戸藩脱藩浪士の高橋多一郎は、大阪での決起を指導するため来坂していたが、事前に計画が漏れ、町奉行所役人に追われて四天王寺まで逃れた後に子息の狂左衛門と共に自害した。

C. 3. 会津藩士墓所



京都守護職の任にあった会津藩主松平容保は、有名な新撰組を配下に置き、京都所司代であった弟の桑名藩主松平定敬と共に、朝廷の守護にあたった。ところが將軍徳川慶喜が大政奉還し、薩・長両藩による王政復古のクーデターが起きると、一転「朝敵」の汚名を着ることとなり、薩・長両軍と幕府軍とが戦った鳥羽・伏見の戦いでも幕府軍に属して敗れた。一心寺の墓所は、この鳥羽・伏見の戦いで戦死した会津藩士のもので、一心寺境内には鳥羽・伏見の戦いで亡くなった幕府軍将兵の鎮魂を祈る「東軍戦死者招魂碑」もある。

D. 4. 伊達千広・陸奥宗光墓所跡



紀州徳川家の重臣で勤王派志士として活躍した伊達千広は、日想観を修しながら没した藤原家隆を尊敬し、家隆塚の傍らに墓を営むよう遺言。「空蟬の殻は何処に朽ちぬとも我魂やどるかた岡ぞこれ」と辞世を詠んだ。父の隣で眠りたいと遺言した実子・陸奥宗光の墓も建てられたが、昭和28年、子孫の強い要望で父子の墓は鎌倉・寿福寺に移された。幕末の薩摩藩家老・小松帯刀の墓も付近にあったが、こちらも鹿児島県日置市の小松家墓所に移された。

E. 5. 新撰組大坂屯所跡



近藤勇、土方歳三、沖田総司らで著名な新撰組は、京都壬生に屯所を置いたことで知られるが、それとは別に大阪・下寺町の萬福寺にも屯所を置き、常時20名ほどが詰っていた。新撰組は大坂で、大坂相撲の大関たちとの乱闘騒ぎ、また大坂西町奉行所与力・内山彦次郎暗殺事件などを起こしている。

F. 6. 島男也旧居跡・川崎孫四郎自刃の地



島男也は、もと水戸藩士で、浪人となり、大阪の坐摩神社の境内に道場を設け、鹿島流剣術を指南していた。“桜田門外の変”で、江戸と大阪の同時決起を計画した高橋多一郎・川崎孫四郎らの同志は、島男也宅に集まっていたところを町奉行所の役人に襲われた。川崎孫四郎は社烈な戦いの末自刃。同志を逃がそうと最後まで戦った島男也は、逮捕後、江戸に送られ獄死した。

G. 7. 浪華仮病院跡



明治元年(1868)の布告で、大阪に本格的な医学専門教育学校と病院建設が計画されていたが、財政難で実現できず、明治2年4月に大福寺から施設の提供を受けてようやく仮病院として開業。院長には緒方洪庵の次男緒方惟準、主席教授にオランダ軍医のボードウィンが迎えられ、一般の病氣治療と医師に対する新治術伝習にあたったが、三ヶ月後に鈴木町代官所跡（現・国立病院機構 大阪医療センター付近）へと移転。病院併設の医学校は明治5年の学制改革によって廃止されたが、これを惜しむ人々が寄付金を募って存続を図り、やがて大阪帝国大学（現・大阪大学）医学部ならびに附属病院へと発展した。

H. 8. 真田山陸軍墓地



大村益次郎の構想によって大阪城内に陸軍所(後の陸軍省)が置かれ、兵学寮の陸軍学舎・軍医学校・教導隊等の幹部養成機関も大阪城周辺に設置された。大阪城は、近代日本陸軍の発祥地となったわけである。真田山陸軍墓地は、我が国最初の陸軍墓地で、明治10年(1877)の西南戦争の戦没者700余名をはじめ、日清・日露戦争や第二次世界大戦の戦没者など、計5300余の墓石が整然とならぶ。

I. 9. 玉造稲荷神社



大坂城の鎮守神。幕末には、近くに国学者・歌人として知られた富商の佐々木春夫が住んだ。文久3年(1863)8月に勃発した「天誅組の変」に、記録方として参加していた伴林光平(国学者・歌人として名高い)と同門であった佐々木春夫は、天誅組に多くの支援を行った。

J. 城中焼亡埋骨墳



鳥羽・伏見の戦いで幕府軍が敗れると、大坂城にいた前將軍徳川慶喜はわずかな側近だけを連れて脱出し、大坂城は慶応4年(1868)正月9日落城。城中焼亡埋骨墳は、このとき城と運命を共にした幕臣たちの遺骨を葬った塚で石碑は同年7月に薩摩・長州両藩が建立した。

10. 大村益次郎殉難報国碑



大村益次郎(旧名・村田蔵六)は、弘化3年(1846)に緒方洪庵の塾塾に入門して蘭学を学び、嘉永2年(1849)には塾頭になった。その後、長州藩の軍政中枢に身を置いて軍政改革を指導し、戊辰戦争でも官軍を率いて活躍した。新政府に出仕して以降も軍政を担当。明治2年(1869)7月の官制改革で兵部省が設置されると、兵部大輔に就任。国民皆兵主義に基づく徴兵制度創出等を構想し、士官養成機関の設置、政府直属軍の創立等、多方面にわたる軍政改革に着手したが、9月に京都で刺客に襲われた後、大坂に運ばれて手術を受けたものの、敗血症を起し11月に死去した。

11. 大阪除痘館跡



江戸時代末期に緒方洪庵が天然痘(痘瘡)予防の活動拠点とした除痘館の跡。洪庵は最初、嘉永2年(1849)古手町(現、道修町5丁目)の借家で除痘館を開設し、安政5年(1858)全国に先駆けて官許を得た。のち万延元年(1860)に当地、尼崎町1丁目(現、今橋3丁目)に移り、事業を拡大した。

12. 適塾



適塾は緒方洪庵が幕末の天保9年(1838)に設立した蘭学の私塾では北は北海道から南は薩摩(鹿児島)まで、全国から英才が集まった。緒方洪庵が幕府に招かれ、江戸に行く文久2年(1862)までの24年間に約1000名の学生がここで学んだ。その中から幕末維新期に活躍した大村益次郎・橋本左内・福沢諭吉らを輩出した。

13. 大阪会議開催の地



方針の食い違いから明治新政府を去り、下野していた木戸孝允・板垣退助を新政府に戻すため、大久保利通は伊藤博文・井上馨の仲介で木戸・板垣と会談した。この「大阪会議」は明治8年(1875)に行われ、一ヶ月の長期に及んだが、立憲政体への漸次移行を確認した。

14. 八軒家船着き場跡



江戸時代、京都と大坂を結ぶ三十石船の発着地として賑わった。慶応4年(明治元年・1868)正月に勃発した鳥羽・伏見の戦いで、幕府軍は薩摩・長州から成る新政府に敗れた。大坂城で形勢を見守っていた徳川慶喜は不利を悟りわずかな重臣とともに大坂城を脱出。八軒家浜から小船に乗って、天保山沖に停泊していた米国軍艦へ避難。翌朝、幕府軍艦「開陽丸」に乗船して、一路江戸へと逃げ帰った。

15. 舎密局跡



「舎密」とはオランダ語で化学を意味する“chemie”を音訳したもの。理化学学校の開設こそが、富国強兵への最善の道と考えた土佐藩出身の後藤象二郎らの建議で設置された。明治元年(1868)11月に京橋口定番中屋敷跡に2階建の白亜の校舎が完成。翌年、オランダ人ハラタマを教頭に迎え開講。わが国における近代自然科学発祥の地となった。

K. 16. 大阪城



3代將軍家光が寛永11年(1634)に入城して以降、長らく將軍の来城が途絶えていたが、幕末に尊王攘夷を叫ぶ志士たちの動きが活発化して上方情勢が緊迫したため、文久3年(1863)14代將軍家茂が上洛し、4月に大坂城に入城。その後家茂は、第二次長州戦争でも大坂城で幕府軍を指揮したが、慶応2年(1866)7月、この戦争の最中に大坂城本丸御殿で死去。続いて15代將軍慶喜も大坂城に入り、慶応3年3月には、本丸御殿で各国公使と兵庫開港問題等について会談した。鳥羽・伏見の戦いで幕府が敗れた慶応4年(1868)正月に慶喜は城を脱出。3日後、大坂城は落城した。

こどもクイズ



中学生以下のお子様対象のクイズです。

クイズに答えて記念品をもらおう!

問題

玉造稲荷神社にはライオンちゃん(獅子)がいますが、その他にも動物がいます。それはなーんだ?

- A: タヌキ
- B: ウサギ
- C: キツネ

答え

